

350
391

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



特223
195



正
信
偈
釋



凡 例

一、本書は、親鸞聖人撰の『正信偈』に、存覺上人の『六要鈔』蓮如上人の『正信偈大意』及び『註』を會合して、學習用として編輯せるものである。

一、本派本願寺寶庫所藏の蓮如上人撰『正信偈註』に二本あり、一は御眞筆本にして、他は側近者の筆寫らしいが、蓮師御所藏の自署がある。何れも、本文は『六要鈔』のままで、傍註若くは冠註のみ、蓮師の御加筆である。その註も、前者に比して後者が詳しい。

一、本書欄外見出しの『六要』は『六要鈔』を、『大意』は『正信偈大意』を、『註一』は御眞筆本『正信偈註』を、『註二』は御所藏本『正信偈註』の略稱である。而して、御眞筆本『註』の傍註と冠註と

は、全部抄出し、御所藏本のみにあつて御眞筆本になきものを「註二」の下に抄出した。

一、分科について、後世の末疏、區々一準でないから、今は大體において、最初の註疏たる『六要鈔』に據ることにした。一、會合の『六要鈔』と『正信偈大意』とは、本派本願寺藏版の同『鈔』并に『眞宗法要』に據る。「註二」は、坊間流行の『正信偈註釋』を御眞筆本に對校し、「註二」は、龍谷大學所藏の寫本『正信偈註釋』を御所藏本に對校し、以て掲載したものである。

一、本書は、龍谷大學眞宗學主任各教授の、合議編輯にかゝるものなることを附記し置く。

昭和八年五月

講本 正信偈釋 目次

大科	一
題號	二
第一編 依經段	三
第一章 歸命體	三
第二章 彌陀教意	五
第一節 正覺因果	五
第二節 往生因果	三
第三章 釋迦教意	一五
第一節 出世本懷	一四
第二節 信心利益	一六
第三節 信受甚難	一三

第二編 依釋段……………二四

第一章 總明……………二四

第二章 別明……………二五

 第一節 龍樹讚……………二五

 第二節 天親讚……………二九

 第三節 曇鸞讚……………三五

 第四節 道綽讚……………三九

 第五節 善導讚……………四五

 第六節 源信讚……………四九

 第七節 源空讚……………五三

第三章 結勸……………五七

講本 正信偈釋

大科

六要

次正信偈百二十句。行數六十。是依三朝高祖解釋。粗述一宗大綱要義。自偈初句。至無過斯。四十四句。二十二行。是大經意。印度以下。四句二行。總標三朝祖師同顯淨土教意。釋迦以下。一十二句。六行之文。是龍樹讚。其初四句。依楞伽經。次之八句。是依十住毗婆沙論。次十二句。六行之文。是天親讚。依淨土論。次十二句。六行之文。是鸞師讚。依論註意。次之八句。四行之文。是綽公讚。依安樂集。次之八句。四行之文。是大師讚。次之八句。四行之文。是惠心讚。依要集意。次之八句。四行之文。空聖人讚。依選擇集。次之四句。是總結也。

大意

抑コノ正信偈トイフハ、句ノカス百二十行ノカス六十ナリ。コレハ三朝高祖ノ解釋ニヨリテ、ホ、一宗大綱ノ要義ヲノヘマシマシケリ。コノ偈ノハシメ歸命トイフヨリ、無過ストイフニイタルマテハ、四十四句二十二行ナリ、コレハ大經ノコ、ロナリ。印度已下ノ四句ハ、總シテ三朝ノ祖師、淨土ノ教ヲアラハスコ、ロチ標シタマヘリ。マタ釋迦トイフヨリ偈ノチハルマテハ、コレ七高祖ノ讚ノコ、ロナリ。

題號

六要

問正信偈者。是何義乎。答正者。對傍對邪對雜。信者對疑。今是對行。就所行法。舉能信名。

大意

問テイハク、正信偈トイフハ、コレハイツレノ義ソヤ。コタ

六要
大意

ヘテイハク、正トイフハ、傍ニ對シ、邪ニ對シ、雜ニ對スルコトハナリ。信トイフハ、疑ニ對シ、マタ行ニ對スルコトハナリ。

第一編 依經段

第一章 歸命躰

歸命無量壽如來 南无不可思議光

大經意中、歸命以下、一行二句。先舉壽命光明尊號。爲歸命體。歸命無量壽如來トイフハ、壽命ノ無量ナル體ナリ。マタ唐土ノコトハナリ。阿彌陀如來ニ南無シタテマツレトイフコ、ロナリ。南無不可思議光トイフハ、智慧ノ光明ノ、ソノ徳スクレタマヘルスカタナリ。歸命無量壽如來トイフハ、スナハチ南無阿彌陀佛ノ體ナリトシラセ、コノ南無阿彌

陀佛トマフスハ、コ、ロチモテモハカルヘカラス、コトハ
 チモテモトキノフヘカラス、コノ二ノ道理キハマリタル
 トコロチ、南無不可思議光トハマフシタテマツルナリ、コ
 レチ報身如來トマフスナリ、コレチ盡十方無尋光如來ト
 ナツケタテマツルナリ、コノ如來チ方便法身トハマフス
 ナリ、方便トマフスハ、カタチチアラハシ、御名チシメシテ、
 衆生ニシラシメタマフチマフスナリ、スナハチ阿彌陀佛
 ナリ、コノ如來ハ光明ナリ、光明ハ智慧ナリ、智慧ハヒカリ
 ノカタチナリ、智慧マタカタチナケレハ、不可思議光佛ト
 マフスナリ、コノ如來十方微塵世界ニミチ／＼タマヘル
 カユヘニ、無邊光佛トマフス、シカレハ世親菩薩ハ、盡十方
 無尋光如來トナツケタテマツリタマヘリ、サレハコノ如
 來ニ南無シ、歸命シタテマツレハ、攝取不捨ノユヘニ、眞實

註 一

報土ノ往生ヲトクヘキモノナリ。

願文云、說我得佛、光明有能限量、下至不照百千億那由他諸
 佛國者、不取正覺。文

設我得佛、壽命有能限量、下至百千億那由他劫者、不取正覺。文
 和讚——超世無上ニ攝取シ、選擇五劫思惟シテ、光明壽命ノ
 誓願ヲ、大悲ノ本トシタマヘリ。

善導言、南無者、即是歸命、亦是發願迴向之義、言阿彌陀佛者、
 即是其行、以斯義故、必得往生。文

註 二

天親——歸命盡十方無尋光如來トイヘリ。

第二章 彌陀教意

第一節 正覺因果

法藏菩薩因位時 在世自在王佛所

觀見諸佛淨土因 國土人天之善惡
建立无上殊勝願 超發希有大弘誓
五劫思惟之攝受

六 要

法藏以下三行半者。是明法藏發心見土思惟等相。經云。棄國捐王。行作沙門。號曰法藏。高才勇哲。與世超異。詣世自在王如來所。乃至於是世自在王佛。即爲廣說二百一十億諸佛刹土。天人之善惡國土之龜妙。應其心願。悉現與之。時彼比丘。聞佛所說嚴淨國土。皆悉觀見。超發無上殊勝之願。其心寂靜。志無所著。一切世間無能及者。具足五劫思惟攝取莊嚴佛國清淨之行。^{上已}

大 意

法藏菩薩因位時。在世自在王佛所。觀見諸佛淨土因。國土人天之善惡。トイフハ、世自在王佛トマフスハ、彌陀如來ノム

カシノ師匠ノ御事ナリ。シカレハコノ佛ノミモトニシテ、二百一十億ノ、諸佛ノ淨土ノナカノ、善惡ヲ觀見シマシク、テ、ソノナカニ、ワロキヲハエラヒステ、ヨキヲハエラヒトリタマヒテ、ワカ淨土トマシマストイヘル、コ、ロニテアルナリ。

建立無上殊勝願。超發希有大弘誓。トイフハ、諸佛ノ淨土ヲエラヒトリテ、西方極樂世界ノ殊勝ノ淨土ヲ建立シタマフカユヘニ、超世希有ノ大願トモ、マタ橫超ノ大誓願トモマフスナリ。五劫思惟之攝受トイフハ、マツ一切トイフハ、タカサ四十里、ヒロサ四十里ノ石ヲ、天人ノ羽衣ヲモテ、ソノオモサ、セニ一ノ四ノ字ヲ一ノケテ、三ノ字ノオモサナルヲキテ、三年ニ一度クタリテ、コノ石ヲナテツクセルヲ、一切トイフナリ、コレヲ五ナテツクスホト、阿彌陀佛ノム

カシ、法藏比丘トマフセシトキ、思惟シテ、ヤスキミノリチ
アラハシテ、十惡五逆ノ罪人モ、五障三從ノ女人チモ、モラ
サスミチヒキテ、淨土ニ往生セシメントチカヒマシマシ
ケリ。

註二

曇摩迦此云法藏。樓夷亘羅佛此云世自在王佛。

重誓名聲聞十方

六要

重誓名聲聞之句者、三誓偈中第三行意、即云我至成佛道等
一行即是第十七願成就意也。

大意

重誓名聲聞十方トイフハ、彌陀如來佛道チナリマシマサ
ンニ、名聲十方ニキコエサルトコロアラハ、正覺チナラシ
ト、チカヒマシマストイヘルコ、ロナリ。

註二

上卷——我至成佛道、名聲超十方、究竟靡所聞、誓不成正覺_文

普放无量无边光 无碍无对光炎王

清淨歡喜智慧光 不斷難思无稱光

超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

六要

普放以下三行六句、具舉十二光佛之名、嘆其利益、一一勝德。
第五卷中被引興釋、宜見彼釋。言塵刹者、經云乃照東方恒
沙佛刹、南西北方、四維上下、亦復如是、_上既照十方、微塵刹土、
何有遺餘、是以今讚云照塵刹。

大意

普放無量無邊光トイフヨリ、超日月光トイフニイタルマ
チハ、コレ十二光佛ノ一一ノ御名ナリ。無量光佛トイフ
ハ、利益ノ長遠ナルコトチアラハス、過現未來ニワタリテ、
ソノ限量ナシ、カストシテ、サラニヒトシキカスナキカユ
ヘナリ。無邊光佛トイフハ、照用ノ廣大ナル徳チアラハス、
十方世界チツクシテ、サラニ邊際ナシ、縁トシテテラサス
トイフコトナキカユヘナリ。無碍光佛トイフハ、神光ノ障

導ナキ相チアラハス、人法トシテヨクサフルコトナキカ
 ユヘナリ。導ニチイテ、内外ノ二障アリ、外障トイフハ、山河
 大地雲霧煙霞等ナリ、内障トイフハ、貪瞋癡慢等ナリ、光雲
 無導如虚空ノ徳アレハ、ヨロヅノ外障ニサヘラレス、諸邪
 業繫無能導者ノチカラアレハ、モロ／＼ノ内障ニサヘラ
 レス、カルカユヘニ、天親菩薩ハ盡十方無導光如來トホメ
 タマヘリ。無對光佛トイフハ、ヒカリトシテ、コレニ相對ス
 ヘキモノナシ、モロ／＼ノ菩薩ノ、チヨフトコロニアラサ
 ルカユヘナリ。炎王光佛トイフハ、マタハ光炎王佛ト號ス、
 光明自在ニシテ、無上ナルカユヘナリ、大經ニ猶如火王燒
 滅一切煩惱薪故トトケルハ、コノヒカリノ徳ヲ嘆スルナ
 リ、火ヲモテタキ、チヤクニ、ツクサストイフコトナキカ
 コトク、光明ノ智火ヲモテ、煩惱ノタキ、チヤクニ、サラニ

滅セストイフコトナシ、三途黑闇ノ衆生モ、光照チカウフ
 リ、解脱チウルハ、コノヒカリノ益ナリ。清淨光佛トイフハ
 無貪ノ善根ヨリ生ス、カルカユヘニ、コノヒカリヲモテ、衆
 生ノ貪欲ヲ治スルナリ。歡喜光佛トイフハ、無瞋ノ善根ヨ
 リ生ス、カルカユヘニ、コノヒカリヲモテ、衆生ノ瞋恚ヲ滅
 スルナリ。智慧光佛トイフハ、無癡ノ善根ヨリ生ス、カルカ
 ユヘニ、コノヒカリヲモテ、無明ノ闇ヲ破スルナリ。不斷光
 佛トイフハ、一切ノトキニ、トキトシテテラサストイフコ
 トナシ、三世常恒ニシテ、照益チナスカユヘナリ。難思光佛
 トイフハ、神光ノ相チハナレテ、ナツクヘキトコロナシ、ハ
 ルカニ言語ノ境界ニコエタルカユヘナリ、コ、ロヲモテ、
 ハカルヘカラサレハ、難思光佛トイヒ、コトハチモテ、トク
 ヘカラサレハ、無稱光佛ト號ス。無量壽如來會ニハ、難思光

註 一

佛ヲハ、不可思議光トナツケ、無稱光佛ヲハ、不可稱量光トイヘリ。超日月光佛トイフハ、日月ハタ、四天下ヲテラシテ、カミ上天ニオヨハス、シモ地獄ニイタラス、佛光ハアマ子ク八方上下ヲテラシテ、障導スルトコロナシ、カルカユヘニ、日月ニコエタリ。サレハコノ十二光ヲハナチテ、十方微塵世界ヲテラシテ、衆生ヲ利益シタマフナリ。

憬興師釋云。無量光佛。非算數故無邊光佛。無緣不照故無導光佛。無有法而能無對光佛。非諸菩薩及故炎王光佛。光明自在更清淨光佛。從無障故無對光佛。非諸菩薩及故清淨光佛。從無瞋善根而生故能智慧光佛。從無癡善根起故不斷光佛。佛之常光恒思光佛。非諸二度無稱光佛。亦非餘乘等所堪說故超日月光佛。日應恒照不用婆娑一耀之光故

第二節 往生因果

六 要 大意

本願名号正定業

本願名號之一句者、十七願意

本願名號正定業トイフハ、第十七ノ願ノコ、ロナリ。十方ノ諸佛ニ、ワカ名ヲホメラレント、チカヒマシク、ステニソノ願成就シタマヘルスカタハ、スナハチ、イマノ本願ノ名號ノ體ナリ。コレスナハチ、ワレラカ往生チトクヘキ行體ナリトシルヘシ。

此一句者、十七願意。所謂設我得佛、十方世界、無量諸佛、不悉

咨嗟稱我名者、不取正覺。

至心信樂願爲因 成等覺證大涅槃

必至滅度願成就

至心信樂之一句者、十八願意。

至心信樂願爲因、成等覺證大涅槃、必至滅度願成就トイフ

六 要 大意

註 一

ハ第十八ノ眞實ノ信心ヲウレハ、スナハチ正定聚ニ住ス、ソノウヘニ等正覺ニイタリ、大涅槃ヲ證スルコトハ、第十一願ノ必至滅度ノ願、成就シタマフカユヘナリ。コレヲ平生業成トハマフスナリ。サレハ正定聚トイフハ、不退ノクヲキナリ、コレハコノ土ノ益ナリ。滅度トイフハ涅槃ノ位ナリ、コレハカノ土ノ益ナリトシルヘシ。和讃ニイハク、願土ニイタレハスミヤカニ、無上涅槃ヲ證シテソ、スナハチ大悲ヲオコスナリ、コレヲ迴向トナツケタリトイヘリ。コレヲモテコ、ロウヘシ。

此三句者、十一願意。所謂設我得佛、國中人人、天、不住定聚、必至滅度者、不取正覺。

第三章 釋迦教意

註 一

六 要

大 意

註 一

第一節 出世本懷

如來所以興出世 唯說彌陀本願海

五濁惡時群生海 應信如來如實言

如來以下二行四句。是示如來出世本懷。勸應信受如來實語。其本懷義。於第一卷引經如來以無蓋大悲之文下。大概解之。如來所以興出世。唯說彌陀本願海。五濁惡時群生海。應信如來如實言。トイフハ、釋尊出世ノ元意ハ、タ、彌陀ノ本願ヲトキマシマサンカタメニ、世ニイテタマヘリ。五濁惡世界ノ衆生、一向ニ彌陀ノ本願ヲ信シタテマツレトイヘルコ、ロナリ。

此二行四句者。是示如來出世本懷。勸應信受如來實語。所謂如來以無蓋大悲。矜哀三界。所以出興於世。光闡道教。欲拯群萌。惠以眞實之利。^{上巳}

註 二

義寂云、言無蓋著、猶無上。此文中亦。教證理益物、以為真實。也、更無餘悲覆蓋上故。利者指此名號、即是佛智。

五濁者、一、劫濁、二、衆生濁、三、見濁、四、煩惱濁、五、命濁也。劫濁者、劫滅ノ時ニ、諸惡加増スルカ故、衆生ノ身長、漸々短小ナリ、其濁ノ驗ナリ。二者衆生濁者、劫末ノ時ハ、衆生ノ十惡、彌盛ナルヲ云フ、則衆生濁惡ニシテ、蛇龍ノ如ナルナリ。如來興世ノ本意ニハ、本願眞實ヒラキテソ、難值難見トトキタマヒ、猶靈瑞華トシメシケル。

第二節 信心利益

能發一念喜愛心 不斷煩惱得涅槃
凡聖逆謗齊回入 如衆水入海一味
能發以下、二行四句。是明煩惱罪障凡夫唯以一念眞實信心

六 要

大意

得其證益。能發等者、明信心相。喜謂歡喜、愛謂愛樂。是則信樂。不斷等者、論註下云、莊嚴清淨功德成就者、偈言觀彼世界相勝過三界道故。此云何不思議。有凡夫人煩惱成就、亦得生彼淨土。三界繫業、畢竟不牽、則是不斷煩惱、得涅槃分焉。可思議。已。問今註釋云、得涅槃分。今不云分如何。答分約初生。若約究竟。宜略此字。或又爲調七言字數。除之無失。凡聖等者、是顯善惡諸機。雖殊齊乘佛願、同生報土、無其差別。論註上、解莊嚴性功德成就。釋性字云、又言性是必然義、不改義。如海性一味衆流入者、必爲一味海水、不隨彼改也。已。能發一念喜愛心トイフハ、一念歡喜ノ信心ノコトナリ。不斷煩惱得涅槃トイフハ、願力ノ不思議ナルカユヘニ、ワカ身ニハ煩惱ヲ斷セサレトモ、佛ノカタヨリ、ツキニ涅槃ニイタルヘキ分ニサタマルモノナリ。凡聖逆謗齊迴入如衆

水入海一味トイフハ、凡夫モ聖人モ、五逆モ謗法モ、ヒトシク本願ノ大智海ニ迴入スレハ、モロクノミツノ、ウミニイリテ一味ナルカコトシトイヘルコ、ロナリ。

攝取心光常照護 已能雖破无明闇

貪愛嗔憎之雲霧 常覆眞實信心天

譬如日光覆雲霧 雲霧之下明無闇

六 要

攝取以下三行六句。是明彌陀光攝之益。貪嗔障蔽。雖不見之。大悲不倦。攝護無止。得心不退。必得往生。論註上云。問曰。若言無尋光如來光明無量照十方國土。無所障尋者。此間衆生。何以不蒙光照。光有所不照。豈非有尋耶。答曰。尋屬衆生。非光尋也。譬如日光周四天下。而盲者不見。非日光不周也。元照彌陀經義疏云。當知我輩處佛光中。都不知覺。佛光常攝。略無厭弃。猶如盲人居日輪下。又如溷蟲樂在穢處。撫膺自責。實可

大 意

悲痛。三毒所覆。不見佛光。義同盲人。不見日光。

攝取心光常照護。已能雖破無明闇。貪愛嗔憎之雲霧。常覆眞實信心天。譬如日光覆雲霧。雲霧之下明無闇。トイフハ、彌陀如來、念佛ノ衆生ヲ攝取シタマフ、ヒカリハツ子ニテラシタマヒテ、ステニヨク、無明ノ闇ヲ破ストイヘトモ、貪欲ト嗔恚ト、クモキリノコトクシテ、眞實信心ノ天ニオホヘルコト、日光ノアキラカナルヲ、クモキリノオホフニヨリテ、カクストイヘトモ、ソノシタハアキラカナルカコトシトイヘリ。

獲信見敬大慶喜 卽橫超截五惡趣

一切善惡凡夫人 聞信如來弘誓願

佛言廣大勝解者 是人名分陀利華

獲信以下三行六句。是顯念佛眞實行者信心勝利。聞法不忘。

六 要

大意

見敬大慶三十偈文。當卷之初。被引用之。故不出釋。聞法本意。在發信心。故云獲信。即橫等者。必得超絕去等文意。五惡趣者。是五道也。淨影師云。今此約對彌陀淨刹。娑婆五道。齊名惡趣。地獄鬼畜。純惡所向。各爲惡趣。娑婆人天。雜業所向。亦名惡趣。若依此方修習斷除。先斷見惑。離三塗。因滅三塗果。後斷修惑。離人天。因絕人天果。漸次斷除。不名橫截。若得往生彌陀淨土。娑婆五道。一時頓捨。故名橫截。義寂師云。就穢土。下三爲惡。人天爲善。今對淨土。五皆名惡。一得往生。五道頓去。故云橫截。上已

獲信見敬大慶喜トイフハ、法ヲキ、テワスレス、オホキニヨロコフヒトヲハ、釋尊ハワカヨキ親友ナリトノタマヘリ。即橫超截五惡趣トイフハ、一念慶喜ノ心オコレハ、願力不思議ノユヘニ、スナハチヨコサマニ、自然トシテ、地獄餓

註一

鬼畜生修羅人天ノキツナチキルトイヘルコ、ロナリ。一切善惡凡夫人、聞信如來弘誓願、佛言廣大勝解者、是人名分陀利華トイフハ、一切ノ善人モ惡人モ、如來ノ本願ヲ聞信スレハ、釋尊ハコノヒトヲ、廣大勝解ノヒトナリトイヒ、マタ、分陀利華ニタトヘ、アルヒハ上々人ナリトモ、希有人ナリトモホメタマヘリ。

人中ノ好人ナリ、人中妙好人、人中上々人、人中希有人、人中最勝人。

必得超絕去、往生安養國、橫截五惡趣、惡趣自然閉。

下卷——聞法能不忘、見敬得大慶、則我善親友、是故當發意。文

眞宗念佛キ、エツ、一念無疑ナルヲコソ、希有最勝人トホメ、正念ヲウトハサタメタル。

白蓮華。

註二

第三節 信受甚難

彌陀佛本願念佛 邪見憍慢惡衆生
信樂受持甚以難 難中之難无過斯

六要

彌陀以下二行四句是明信受甚難。欲令識知遇法要益。言信樂者。光記釋云。信有二種。一忍許相。或名信可。名異義同。二欲樂相。或名信樂。或名信愛。名異義同。百法論疏云。云何爲信。於實德能深忍樂欲。心淨爲性。對治不信。樂善爲業。唯識論云。忍謂勝解。此即信因。樂欲謂欲即是信果。依此等文。信有二義。所謂忍許愛樂也。今信樂者。即此二意。言受持者。義寂師云。受者作心領納故。持者得記不忘故。難中等者。經云。若聞斯經。信樂受持。難中之難。無過此難。淨影師云。約對前三。明此經中修學最難。餘義餘法。處々宜說。開顯淨土教人往

大意

生獨此一經爲是最難。言前三者。諸佛經道。菩薩勝法。聞法能行。是皆爲難。對三今經第一難也。問持此經人。善惡二機更無所選。何云邪見憍慢等耶。答念佛之機。廣巨善惡。置而不論。雖然專以障重根鈍爲正機。故先約惡人。非除善人。彌陀佛本願念佛。邪見憍慢惡衆生。信樂受持甚以難。難中之難。無過斯。トイフハ、彌陀如來ノ本願ノ念佛ヲハ、邪見ノモノト、憍慢ノモノト、惡人トハ、眞實ニ信シタテマツルコト、カタキカナカニカタキコト、コレニスキタルハナシトイヘルコ、ロナリ。

註一
註二

一代諸教ノ信ヨリモ、弘願ノ信樂ナチカタシ、難中之難トトキタマヒ、無過斯難トノヘタマフ。
第四句下一眼龜ノ挾註アリ。

第二編 依釋段

第一章 總 明

印度西天之論家 中夏日域之高僧
顯大聖興世正意 明如來本誓應機

六 要

印度以下二行四句。總明三朝高僧弘教利生本心。顯大等者。是顯釋尊發遣聖意。明如等者。是示彌陀濟度佛願。

大 意

印度西天之論家。中夏日域之高僧。顯大聖興世正意。明如來本誓應機。トイフハ、印度西天トイフハ、天竺ナリ、中夏トイフハ、唐土ナリ、日域トイフハ、日本ノコトナリ。コノ三國ノ祖師等、念佛ノ一行チス、メ、コトニ釋尊出世ノ本懷ハ、タ、彌陀ノ本願チ、アマ子クトキアラハシテ、末世ノ凡夫ノ機ニ應シタルコトチ、アカシマシマストイヘルコ、ロナ

リ。

第二章 別 明

第一節 龍 樹 讚

釋迦如來楞伽山 爲衆告命南天竺
龍樹大士出於世 悉能摧破有無見
宣說大乘无上法 證歡喜地生安樂

六 要

釋迦已下三行六句。是明釋尊未來記說。楞伽經云。我乘內證智。妄覺非境界。如來滅世後。誰持爲我說。未來當有人。於南天國中。有大德比丘。名龍樹菩薩。能破有無見。爲人說。我乘大乘無上法。住初歡喜地。往生安樂國。此經文意。眞言行人。謂約秘教。眞宗學者。爲被念佛。內證智者。彌陀五智。妄覺等者。聲聞菩薩。不測如來智慧海也。我乘大乘無上法者。念佛三昧。龍

樹論中。多讚彌陀。稽首禮拜。故指眞門。自云我乘。今言大乘無上法者。即是念佛。佛以名號。說爲大利。又言無上功德。故也就中既說安樂往生。是故釋尊未來記文。龍樹出世。專爲弘通彌陀教也。

大意

釋迦如來楞伽山。爲衆告命南天竺。龍樹大士出於世。悉能摧破有無見。宣說大乘無上法。證歡喜地。生安樂。トイフハ、コノ龍樹菩薩ハ、八宗ノ祖師、千部ノ論師也。釋尊ノ滅後、五百餘歲ニ出世シタマフ、釋尊コレチカ子テシロシメシテ、楞伽經ニトキタマハク、南天竺國ニ、龍樹トイフ比丘アルヘシ、ヨク有無ノ邪見ヲ破シテ、大乘無上ノ法ヲトキテ、歡喜地ヲ證シテ、安樂ニ往生スヘシト、未來記シタマヘリ。

註一

龍樹讚(第一句ニ肩書ス)

南天竺ニ比丘アラン、龍樹菩薩トナツクヘシ、有無ノ邪見

ヲ破スヘシト、世尊ハカ子テトキタマフ。本師龍樹菩薩ハ、大乘無上ノ法ヲトキ、歡喜地ヲ證シテソ、ヒトヘニ念佛ス、メケル。

顯示難行陸路苦 信樂易行水道樂

顯示以下。一行二句。判示難易二道得失。其文源出十住婆沙。具文引在當卷初耳。

大意

顯示難行陸路苦、信樂易行水道樂トイフハ、カノ龍樹ノ十住毘婆沙論ニ、念佛ヲホメタマフニ、二種ノ道ヲタテタマフ。一ニハ難行道、二ニハ易行道ナリ。ソノ難行道ノ、修シカタキコトヲタトフルニ、陸地ノミチチアユフカコトシトイヘリ。易行道ノ、修シヤスキコトヲタトフルニ、ミツノウヘチ、フ子ニノリテユクカコトシトイヘリ。

註一

所謂難行道者。謂於五濁之世無佛之時。求阿毘跋致爲難。此

註二

難有多途。今略之。譬如陸路步行則苦。易行道者。謂但以信佛因緣。願生淨土。乘佛願力。使得往生。彼清淨土。譬如水路之乘船則樂。ト具書ス。

龍樹大士世ニイテ、難行易行ノミチヲシヘ、流轉輪回ノワレヲハ、弘誓ノフ子ニノセタマフ。

人能念是佛。無量功德。即時入必定。是故我常念。文

憶念彌陀佛本願 自然即時入必定

憶念等者。即所上引。人能念是佛等文意也。

憶念彌陀佛本願。自然即時入必定。トイフハ、本願力ノ不思議ヲ憶念スルヒトハ、オノツカラ、必定ニイルヘキモノナリトイヘルコ、ロナリ。

此一行二句者。人能念是佛。無量功德。即時入必定。是故我常念文意也。ト具書ス。

六要

註一

六要

唯能常稱如來号 應報大悲弘誓恩

唯能以下。一行二句。總結釋也。遇易行法。出離在心。勸應報謝他力佛恩。

大意

唯能常稱如來號。應報大悲弘誓恩。トイフハ、眞實ノ信心ヲ獲得センヒトハ、行住坐臥ニ、名號ヲトナヘテ、大悲弘誓ノ恩徳ヲ報シタテマツルヘシトイヘルコ、ロナリ。和讃一彌陀大悲ノ誓願ヲ、フカク信セン人ハミナ、子テモサメテモヘタテナク、南無阿彌陀佛ヲトナフヘシ。

註二

第二節 天親讚

天親菩薩造論說 歸命无导光如來

天親讚中。初之二句。標造論事。述歸命意。

天親菩薩造論說歸命无导光如來トイフハ、コノ天親菩薩

六要

大意

モ、龍樹トオナシク、千部ノ論師ナリ、佛滅後九百年ニアタ
リテ出世シタマフ。淨土論一卷ヲツクリテ、アキラカニ、三
經ノ大意ヲノヘ、モハラ無尋光如來ニ歸命シタテマツリ
タマヘリ。

註一

天親讚（第一句ニ肩書ス）

天親論主ハ一心ニ、無尋光ニ歸命ス、本願力ニ乘スレハ、報
土ニイタルトノヘタマフ。

依修多羅顯真實 光闡橫超大誓願

廣由本願力回向 爲度群生彰一心

六要

依修以下二行四句。是明所依真實之義。又顯橫超他力之益。
論中雖無橫超之言。三經一論所說法門。法躰同故。依彼經中
或云超絕。或云橫截。今云橫超。又大師釋。有此名目。故云橫超
大誓願也。彰一心者。指我一心。論主一心。行者一心。其心可

大意

同。是故釋云爲度群生。

依修多羅顯真實、光闡橫超大誓願、廣由本願力迴向、爲度群
生彰一心トイフハ、コノ菩薩、大乘經ニヨリテ、眞實チアラ
ハス。ソノ眞實トイフハ、念佛ナリ。橫超ノ大誓願チヒラキ
テ、本願ノ回向ニヨリテ、群生ヲ濟度センカタメニ、論主モ、
一心ニ無尋光ニ歸命シ、オナシク衆生モ、一心ニカノ如來
ニ歸命セヨトス、メタマヘリ。

註一

論主ノ一心トケルチハ、曇鸞大師ノミコトニハ、煩惱成
就ノワレラカ、他力ノ信トノヘタマフ。

註二

盡十方ノ無尋光佛、一心ニ歸命スルチコソ、天親論主ノミ
コトニハ、願作佛心トノヘタマフ。

歸入功德大寶海 必獲入大會衆數

得至蓮華藏世界 卽證眞如法性身

六要

遊煩惱林現神通 入生死蘭示應化

歸入已下。三行六句。論五門中。第二第三第五門意。論註下云。第二門者。以讚嘆阿彌陀佛隨順名義。稱如來名。依如來光明智相修行故。得入大會衆數。是名第二門。依如來名義讚嘆。是第二功德相。入第三門者。以一心專念作願生彼修奢摩他寂靜三昧行故。得入蓮華藏世界。是名入三門。爲修寂靜止故。一心願生彼國。是第三功德相。乃出第五門者。此重釋。始引註文。下所載論文。必獲入大會衆數者。第二門益。得至蓮華藏世界者。第三門益。遊煩惱林現神通者。第五門益。今除第一第四兩門。問五門之中。舉此三門。有何意耶。答第二門者。是讚嘆門。其讚嘆者。隨順名義。稱如來名。是肝要故。第三門者。其益蓮華藏世界故。就爲勝益。今故出之。入四門中。以爲最要。舉此二門。第五門者。是出功德。還相回向。利益衆生之至極故。依是等義。出此三門。

大意

問蓮華藏世界者。是何土哉。答智光疏云。如言盧舍那佛坐蓮華藏世界。今言蓮華藏世界者。無量壽佛所居住處。准此世界。隨義爲名。卽是修行安心之宅。上如此文者。極樂花藏。是一土也。問華藏世界。純菩薩居。極樂國土。五乘通入。何一土哉。答分爲兩土。且隨機見。達其深旨。非各別土。隨則極樂。大乘善根清淨土故。實無二乘三乘之異。依之智論。判云。一乘清淨無量壽世界。今論說云。蓮華藏界。名異義同。其理應知。卽證等者。寂靜三昧所入之土故。得眞如法性證也。

歸入功德大寶海。必獲入大會衆數トイフハ、大寶海トイフハ、ヨロツノ衆生チキラハス、サハリナク、ヘタラス、ミチヒキタマフチ、大海ノミツノ、ヘタテナキニタトヘタリ。コノ功德ノ大寶海ニ歸入スレハ、カナラス彌陀大會ノカスニイルトイヘルコ、ロナリ。得至蓮華藏世界、卽證眞如法性

註 一

身トイフハ、蓮華藏世界トイフハ、安養世界ノコトナリ。カ
ノ土ニイタリナハ、スミヤカニ、眞如法性ノ身チウヘキモ
ノナリトイフコ、ロナリ。遊煩惱林現神通、入生死菌示應
化トイフハ、コレハ還相回向ノコ、ロナリ。彌陀ノ淨土ニ
イタリテハ、娑婆ニモマタチカヘリ、神通自在チモテ、コ
、ロニマカセテ、衆生ヲモ利益セシムヘキモノナリ。

註 二

出第五門者、以大慈悲觀察一切苦惱衆生、示應化身、廻入生
死菌煩惱林中、遊戯神通、至教化地、以本願力回向故、是名出
第五門^上ト具書ス。
煩惱具足ト信知シテ、本願力ニ乘スレハ、スナハチ穢身ス
ラハテ、法性常樂證セシム。
安樂淨土ニイタルヒト、五濁惡世ニカヘリテハ、釋迦牟尼
佛ノコトクニテ、利益衆生ハキハモナシ。

六 要

本師曇鸞梁天子 常向鸞處菩薩禮

鸞師釋中、初之二句、明朝崇重、示其行德。迦才淨土論云、沙
門曇鸞法師者、并州汶水人也。魏末高齊之初、猶在神智高遠。
三國知聞、洞曉衆經、獨出人外。梁國天子蕭王、恒向北禮鸞菩
薩。註解往生論、載成兩卷^上。

大 意

本師曇鸞梁天子、常向鸞處菩薩禮トイフハ、曇鸞大師ハ、モ
トハ四論宗ノヒトナリ。四論トイフハ、三論ニ智論ヲクハ
フルナリ。三論トイフハ、一ニハ中論、二ニハ百論、三ニハ十
二門論ナリ。和尚ハ、コノ四論ニ通達シマシクケリ。サル
ホトニ、梁國ノ天子蕭王ハ、御信仰アリテ、オハセシカタニ
ツ子ニムカヒテ、曇鸞菩薩トソ、禮シマシクケリ。

第三節 曇 鸞 讚

註 一

曇鸞釋(第一句ニ肩書ス)

三藏流支授淨教 焚燒仙經歸樂邦

三藏已下。一行二句。先明今師歸法行狀。新修往生傳云。初鸞好爲術學。聞陶隱居得長生法。千里就之。陶以仙經十卷授。鸞躍然自得。以爲神仙之術。其必然也。後還洛下。遇菩提留支。意頗得之。問支曰。佛道有得長生乎。具能却老爲不死乎。支笑而對曰。長生不死。吾佛道也。旋以觀無量壽經授之曰。汝可誦之。則三界無復生。六道無所往。至乃此吾金仙氏之長生也。至乃鸞承其語。驟起深信。遂焚所學仙經。而專觀經。上已三藏流支授淨教。焚燒仙經歸樂邦。トイフハ、カノ曇鸞大師、ハシメハ四論宗ニテオハセシカ、佛法ノソコヲ、ナラヒキハメタリトイフトモ、イノチミシカクハ、ヒトヲタスクルコトイクハクナラントテ、陶隱居トイフヒトニアフテ、マ

大意

六 要

ツ長生不死ノ法ヲナラヒヌ。ステニ三年ノアヒタ、仙人ノトコロニシテ、ナラヒエテカヘリタマフ。ソノミチニテ、菩提流支トマウス三藏ニ、ユキアヒテノタマハク、佛法ノナカニ、長生不死ノ法ハ、コノ土ノ仙經ニ、スクレタル法ヤアルト、トヒタマヘハ。三藏地ニツハキチハキテイハク、コノ方ニハ、イツクノトコロニカ、長生不死ノ法アラン、タトヒ長年チエテ、シハラク死セストイフトモ、ツキニ三有ニ輪廻スヘシトイヒテ、スナハチ淨土ノ觀無量壽經ヲサツケテイハク、コレコソ、マコトノ長生不死ノ法ナリ、コレニヨリテ、念佛スレハ、ハヤク生死ヲノカレテ、ハカリナキイノチヲウヘシ、トノタマヘハ。曇鸞コレヲウケトリテ、仙經十卷ヲタチマチニヤキステ、一向ニ淨土ニ歸シタマヒケリ。

註一

本師曇鸞和尚ハ、菩提流支ノオシヘニテ、仙經ナカクヤキステ、淨土ニフカク歸セシメキ。

註二

四論ノ講說サシオキテ、本願他力ヲトキタマヒ、愚縛ノ凡衆ヲミチヒキテ、涅槃ノカトニソ入ラシメシ。

天親菩薩論註解 報土因果顯誓願

往還回向由他力 正定之因唯信心

惑染凡夫信心發 證知生死即涅槃

必至无量光明土 諸有衆生皆普化

六要

天親已下、四行八句、依論註意、粗述其意。論註解者、見上所引迦才師釋。惑染等者、問生死即是涅槃、證者約深悟機、惑染凡夫、縱發信心、爭得其證、隨而今教、不明無相離念之義、煩惱菩提、不二之悟、何以關之。答非云、凡夫直證此理、而今名號、万德所歸、佛果功德、能信信心、又起他力、更非凡夫自力心

大意

行。是故發信、稱其名號、雖爲不斷煩惱惡機、依法功能、備此理也。必至等者、生彼土已、廣利衆生、得自在也。天親菩薩論註解、報土因果顯誓願トイフハ、カノ鸞師、天親菩薩ノ淨土論ニ、註解トイフフミチツクリテ、クハシク極樂ノ因果、一々ノ誓願ヲアラハシタマヘリ。往還廻向由他力、正定之因唯信心トイフハ、往相還相ノ二種ノ廻向ハ、凡夫トシテハ、更ニオコサ、ルモノナリ、コトク、如來ノ他力ヨリオコサシノラレタリ、正定ノ因ハ、信心ヲオコサシムルニ、ヨレルモノナリトナリ。惑染凡夫信心發、證知生死即涅槃トイフハ、一念ノ信オコリヌレハ、イカナル惑染ノ機ナリトイフトモ、不可思議ノ法ナルカユヘニ、生死スナハチ涅槃ナリトイヘルコ、ロナリ。必至無量光明土、諸有衆生皆普化トイフハ、聖人、彌陀ノ眞土ヲサタメタマフ

註 二

トキ佛ハコレ不可思議光土ハマタ無量光明土ナリトイヘリ、カノ土ニイタリナハ、マタ穢土ニタチカヘリ、アラユル有情ヲ化スヘシトナリ。

彌陀ノ回向成就シテ、往相還相フタツナリ、コレラノ廻向ニヨリテコソ、心行トモニエシムナレ。

第四節 道 綽 讚

道綽決聖道難證 唯明淨土可通入

萬善自力貶勤修 圓滿德号勸專稱

三不三信誨慇懃 像末法滅同悲引

一生造惡值弘誓 至安養界證妙果

次綽公讚。依安樂集。演其義趣。道綽等者。彼集上卷第三大

門。有五番中。第五文段。引月藏經。證聖道門末法修行得道難。

六 要

成。結云。唯有淨土一門可通入路。已。彼經之說。此釋具文。在第六本。萬善等者。同釋之中。或云一切衆生都不自量。或云然持得者甚希。是貶自力修行義也。圓滿等者。同釋之中。或云。是以諸佛大慈勸歸淨土。或云。何不思量。都無去心也。是勸專稱念佛義也。三不等者。彼集大門第二之章。有三番中。第三廣施問答。釋去疑情。下釋其文大略。與論註同。而彼註釋。在三本。可待其解。一生等者。上云。唯有淨土等。之同章云。縱令一生造惡。但能繫意。專稱常能念佛。一切諸障。自然消除。定得往生。此文意也。

大意 道綽決聖道難證。唯明淨土可通入トイフハ、コノ道綽ハ、モトハ涅槃宗ノ學者ナリ。曇鸞和尚ノ面授ノ弟子ニアラス、ソノ時代、一百餘歳ヲヘタテタリ。シカレトモ、并州玄忠寺ニシテ、曇鸞ノ碑ノ文ヲミテ、淨土ニ歸シタマヒシユヘニ、

カノ弟子タリ。コレマタ、ツキニ涅槃ノ廣業ヲサシチキテ、ヒトヘニ西方ノ行チヒロメタマヒキ。サレハ聖道ハ難行ナリ、淨土ハ易行ナルカユヘニ、タ、當今ノ凡夫ハ、淨土ノ一門ノミ、通入スヘキミチナリトチシヘタマヘリ。萬善自力貶勤修、圓滿德號勸專稱トイフハ、萬善ハ、自力ノ行ナルカユヘニ、末代ノ機、修行スルコト、カナヒカタシトイヘリ。圓滿ノ德號ハ、他力ノ行ナルカユヘニ、末代ノ機ニハ、相應セリトイヘルコ、ロナリ。三不三信誨慇懃、像末法滅同悲引トイフハ、道綽禪師、三不三信トイフコトヲ釋シタマヘリ。一ニハ信心アツカラス、若存若亡スルユヘニ、二ニハ信心ヒトツナラス、イハク決定ナキカユヘニ、三ニハ信心相續セス、イハク餘念間故ナルカユヘニトイヘリ。カクノコトク子ンコロニチシヘタマヒテ、像法末法ノ衆生ヲ、オナ

註

一

シクアハレミマシ／＼ケリ。一生造惡值弘誓、至安養界證妙果トイフハ、彌陀ノ弘誓ニ、マウアヒタテマツルニヨリテ、一生造惡ノ機モ、安養界ニイタレハ、スミヤカニ、無上ノ妙果ヲ證スヘキモノナリト、イヘルコ、ロナリ。

綽公讚(第一句ニ肩書ス)

二句、一句、一句、二句、二句ニ分釋ス。

三不三信等、二句ノ解、與論註同ノ次ニ引文。其文云、一者信心不淳。若存若亡故。二者信心不一。無決定故。三者信心不相續。餘念間故。此三句、展轉相成。以信心不淳故。無決定。無決定故。念不相續。亦可念不相續。故不得決定。信心不淳。與此相違。名如實修行相應ト具書ス。

月藏經。我末法時中。億々衆生。起行修道。未有一人得者。當今末法。是五濁惡世也。唯有淨土一門。可通入路。文

註

二

本師道綽禪師ハ、聖道万行サシオキテ、唯有淨土一門ヲ通入スヘキミチト、ク。

本師道綽大師ハ、涅槃ノ廣業サシオキテ、本願他力ヲタノミツ、五濁ノ群生ス、メシム。

一形惡ヲツクレトモ○縱令一生造惡ノ――

不如實修行トイヘルコト、鸞師釋シテノタマハク、一者信心アツカラス、若存若亡スルユヘニ、二者信心一ナラス、決定ナキユヘナレハ、三者信心相續セス。

安樂集――一者信心不淳、若存若亡、二者信心不一、謂無決定故、三者信心不相續、謂餘念間故。

願土ニイタレハスミヤカニ、無上涅槃ヲ證シテソ、スナハチ大悲ヲオコスナリ、コレヲ廻向トナツケタリ。

第五節 善導讚

善導獨明佛正意 矜哀定散與逆惡

光明名號顯因緣 開入本願大智海

行者正受金剛心 慶喜一念相應後

與韋提等獲三忍 卽證法性之常樂

大師讚善導等者、選擇集意、諸師雖多、獨依今師、蓋請佛證、楷定古今、明顯別意、弘願正旨、故也。依之、或云彌陀化身、或勘經文、直云教主釋尊再誕、更不可準餘師者也。矜哀等者、明所被機、普兼善惡、言定散者、只是簡機、非其受法、故對造逆造惡衆生、舉定與散、以爲善機。光明等者、上所引之、禮讚前序釋之意也。行者等者、非指菩薩等覺後心、只明一心念佛行者一念慶喜金剛信心、與韋提者序分義意、彼釋被載第三卷

大意

末仍可讓下。言三忍者喜悟信也。即證等者。往生禮讚前序。釋云捨此穢身即證等意。善導獨明佛正意。矜哀定散與逆惡トイフハ、淨土門ノ祖師、ソノカスコレオホシトイヘトモ、善導ニカキリ、ヒトリ佛證チコフテ、アヤマリナク、佛ノ正意チアカシタマヘリ。サレハ、定散ノ機チモ、五逆ノ機チモ、モラサス、アハレミタマヒケリトイフコ、ロナリ。光明名號顯因緣トイフハ、彌陀如來ノ四十八願ノナカニ、第十二ノ願ハ、ワカヒカリ、キハナカラントチカヒタマヘリ。コレスナハチ、念佛ノ衆生チ攝取ノタメナリ。カノ願ステニ成就シテ、アマ子ク、無導ノヒカリチモテ、十方微塵世界チテラシタマヒテ、衆生ノ煩惱惡業チ、長時ニテラシマシマス。サレハ、コノヒカリノ縁ニアフ衆生、ヤウヤク、無明ノ昏闇ウスクナリテ、宿善ノタ

子キサストキ、マサシク報土ニムマルヘキ、第十八ノ念佛往生ノ願因ノ名號チキクナリ。シカレハ、名號執持スルコト、サラニ自力ニアラス、ヒトヘニ光明ニモヨホサル、ニヨリテナリ。コノユヘニ、光明ノ縁ニキサ、レテ、名號ノ因ハ、アラハル、トイフコ、ロナリ。開入本願大智海、行者正受金剛心トイフハ、本願ノ大智海ニ歸入シヌレハ、眞實ノ金剛心チ、ウケシムトイフコ、ロナリ。慶喜一念相應後、與韋提等獲三忍、即證法性之常樂トイフハ、一心念佛ノ行者、一念慶喜ノ信心サタマリヌレハ、韋提希夫人トヒトシク、喜悟信ノ三忍チウヘキナリ。喜悟信ノ三忍トイフハ、一ニハ、喜忍、二ニハ、悟忍、三ニハ、信忍ナリ。喜忍トイフハ、コレ信心歡喜ノ得益チアラハスコ、ロナリ。悟忍トイフハ、佛智チサトルコ、ロナリ。信忍トイフハ、スナハチコレ、信心成

就ノスカタナリ。シカレハ、韋提ハコノ三忍ノ益ヲエタマ
ヘルナリ、コレニヨリテ、眞實信心ヲ具足センヒトハ、韋提
希夫人ニヒトシク、三忍ヲエテ、スナハチ法性ノ常樂ヲ證
スヘキモノナリ。

註 一

大師讚（第一句ニ肩書ス）

光明者。禮讚前序釋意也。所謂以光明名號。攝化十方。但使信
心求念。行者等者。非指菩薩等覺後心。只明一心念佛行者
一念慶喜金剛信心。與韋提者。教行證三末云。獲金剛心者。
則與韋提等。即可獲得喜悟信之忍。是則往相廻向之真心徹
到故。籍不可思議之本誓故也。言三忍者。一喜忍。二悟忍。三信
忍也。喜忍者。信心歡喜之相。悟忍者。悟佛智故。信忍者。信心
成就之相。即證等者。玄義序題門釋云。捨此穢身即證彼法
性之常樂意也。ト具書ス。

註 二

大心海ヨリ化シテコソ、善導和尚トオハシケレ、末代濁世
ノタメニトテ、十方諸佛ニ證ヲコフ。
釋迦彌陀ハ慈悲ノ父母、種々ニ善巧方便シ、ワレラカ無上
ノ信心ヲ發起セシメタマヒケリ。

第六節 源 信 讚

源信廣開一代教 偏歸安養勸一切

楞嚴讚中。初二句者。標諸教中選歸安養。偏勸西方。

源信廣開一代教。偏歸安養勸一切。トイフハ、楞嚴ノ和尚ハ、
ヒロク釋迦一代ノ教ヲヒラキテ、モハラ念佛チエランテ、
一切衆生ヲシテ、西方ノ往生チス、メシメタマヘリ。

註 一

楞嚴讚（第一句ニ肩書ス）

惠心——夫往生極樂之教行。濁世末代之目足也。道俗貴賤。誰

不歸。

註二 本師源信子シコロニ、一代佛教ノソノナカニ、念佛一門ヒ
ラキテソ、濁世末代オシヘケル。

專雜執心判淺深 報化二土正辨立

極重惡人唯稱佛 我亦在彼攝取中

煩惱鄣眼雖不見 大悲无倦常照我

六 要 專雜以下三行六句別依要集辨其義趣。專雜等者彼集下
末引群疑論問答之中明雜修人執心不牢生懈慢國專行之
人執心牢固生極樂國是判專雜二修得失又所辨立報化二
土得失文也。極重等者同集下本大門第八念佛證據門中
出十文內四依觀經所出釋之極重惡人無他已下四言四句
要文意也。我亦等者同集上末大門第四正修念佛章段之
中有五門內中末第四明觀察門於中有三一別相觀二總相

大意

觀三雜略觀其雜略觀引彼觀經一々光明遍照等文其下所
釋我亦在彼攝取以下四言六句二十四字之文意也。

專雜執心判淺深報化二土正辨立トイフハ、雜行雜修ノ機
ヲステヤラヌ執心アルヒトハ、カナラス化土懈慢國ニ生
スルナリ。マタ專修正行ニ、ナリキハマルカタノ執心アル
ヒトハ、サタメテ報土極樂國ニ生スヘシトナリ。コレスナ
ハチ、專雜二修ノ淺深ヲ判シタマヘルコ、ロナリ。和讃ニ
イハク、

報ノ淨土ノ往生ハ、オホカラストソアラハセル、化土ニム
マル、衆生チハ、スクナカラストチシヘタリ、トイヘルハ
コノコ、ロナリトシルヘシ。

極重惡人唯稱佛トイフハ、極重ノ惡人ハ、他ノ方便ナシ、タ
、彌陀ヲ稱シテ、極樂ニ生スルコトチエヨ、トイヘル文ノ

コ、ロナリ。我亦在彼攝取中、煩惱障眼雖不見、大悲無倦常照我トイフハ、眞實信心ヲエタルヒトハ、身ハ娑婆ニアレトモ、カノ攝取ノ光明ノナカニアリ、シカレトモ、煩惱マナコチサヘテ、オカミタテマツラストイヘトモ、彌陀如來ハモノウキコトナクシテ、ツ子ニワカ身ヲテラシマシマス、トイヘルコ、ロナリ。

註 一

極重惡人。無他方便。唯稱彌陀。得生極樂。ト具書ス。

我亦在彼攝取之中。煩惱障眼雖不能見。大悲無倦常照我身。ト具書ス。

註 二

靈山聽衆トオハシケル、源信僧都ノオシヘニハ、報化二土ヲオシヘテソ、專雜ノ得失サタメタル。

和讚——報ノ淨土ノ往生ハ、オホカラストソアラハセル、化土ニムマル、衆生ヲハ、スクナカラストアラハセル。

六 要
大 意

本師源空明佛教 憐愍善惡凡夫人

次黑谷讚。初之二句。總稱智解悲心二德。

本師源空明佛教、憐愍善惡凡夫人トイフハ、日本ニハ念佛ノ祖師、ソノカスコレオホシトイヘトモ、法然聖人ノコトク、一天ニ、アマ子ク、アフカレタマフヒトハナキナリ、コレスナハチ、佛教ニアキラカナリシユヘナリ。サレハ彌陀ノ

第七節 源 空 讚

要集——又報淨土。生者極少。化淨土中。生者不少。文

極惡深重ノ衆生ハ、他ノ方便サラニナシ、ヒトヘニ彌陀ヲ稱シテソ、淨土ニムマルトノヘタマフ。

煩惱ニマナコサヘラレテ、攝取ノ光明ミサレトモ、大悲モノウキコトナクテ、ツ子ニワカ身ヲテラスナリ。

化身トイヒ、マタ勢至ノ來現トイヒ、マタ善導ノ再誕トモイヘリ。カ、ル明師ニテマシマスカユヘニ、ワレラ善惡ノ凡夫人チ、アハレミタマヒテ、淨土ニス、メイレシメタマヒケルナリ。

黑谷讚。(第一句ニ肩書ス)

一代五遍(第二句下ニ細書ス)

眞宗教證興片州 選擇本願弘惡世

次之二句別嘆片州弘通巨益。

眞宗教證興片州、選擇本願弘惡世トイフハ、カノ聖人、我朝ニハシメテ、淨土宗ヲタテタマヒテ、マタ選擇集トイフフミチツクリマシクテ、惡世ニアマ子クヒロメシメタマヘリ。

本師源空世ニイテ、弘願ノ一乘ヒロメツ、日本一州コ

註 一

大意

註 二

トクク、淨土ノ機縁アラハレヌ。
智惠光ノチカラヨリ、本師源空アラハレテ、淨土眞宗ヲヒラキツ、選擇本願ノヘタマフ。
還來生死輪轉家 決以疑情爲所止
速入寂靜无爲樂 必以信心爲能入
還來已下、二行四句、就選擇集、舉釋義要。所謂當知生死以下、二十言意。

六 要
大 意

還來生死輪轉家、決以疑情爲所止、速入寂靜無爲樂、必以信心爲能入トイフハ、生死輪轉ノイヘトイフハ、六道論廻ノコトナリ。コノフルサトヘカヘルコトハ、疑情ノアルニヨリテナリ。マタ寂靜無爲ノ淨土ヘイタルコトハ、信心ノアルニヨリテナリ。サレハ選擇集ニイハク、生死ノイヘニハ、ウタカヒチモテ所止トシ、涅槃ノミヤコニハ、信ヲモテ能

註一

入トス、トイヘルコノコ、ロナリ。

當知生死之家。以疑爲所止。涅槃之城。以信爲能入ト具書ス。

第三章 結 勸

弘經大士宗師等 拯濟无邊極濁惡
道俗時衆共同心 唯可信斯高僧說

弘經已下、二行四句。總結諸祖拯濟之德。勸可依信彼等說耳。弘經大士宗師等、拯濟無邊極濁惡、道俗時衆共同心、唯可信斯高僧說トイフハ、弘經大士トイフハ、天竺震旦我朝ノ、菩薩祖師等ノコトナリ。カノ人師、未來ノ極濁惡ノワレラチ、アハレミスクヒタマハントテ、出生シタマヘリ。シカレハ道俗等ミナ、カノ三國ノ高祖ノ說ヲ、信シタテマツルヘキモノナリ。サレハワレラカ、眞實報土ノ往生ヲ、チシヘタマ

大意

大意

フコトハシカシナカラ、コノ祖師等ノ、御恩ニアラストイフコトナシ、ヨク、ソノ報恩謝德シタテマツルヘキモノナリ。

右コノ正信偈大意ハ、金森ノ道西、一身才覺ノタメニ、連々ソノツミコレアリトイヘトモ、予イサ、カ、ソノ料簡ナキ間、カタク斟酌チクハフルトコロニ、シキリニ所望ノム子サリカタキニヨリテ、文言ノイヤシキチカヘリミス、マタ義理ノ次第チモイハス、タ、願主ノ命ニマカセテ、コトハチヤハラケ、コレチシルシアタフ。ソノ所望アルアヒタ、カクノコトクシルストコロナリ。アヘテ外見アルヘカラサルモノナリ。

干時長祿第四之天林鐘之比染筆訖

本講
正信偈釋
終

昭和八年六月五日印刷
昭和八年六月十日發行

本講
正信偈釋
定價金八十錢



編纂者兼
發行者

龍谷大學

京都市下京區猪熊七條上ル

右代表者 深浦正文

印刷者

福井松之助

京都市中京區柳馬場三條南

印刷所

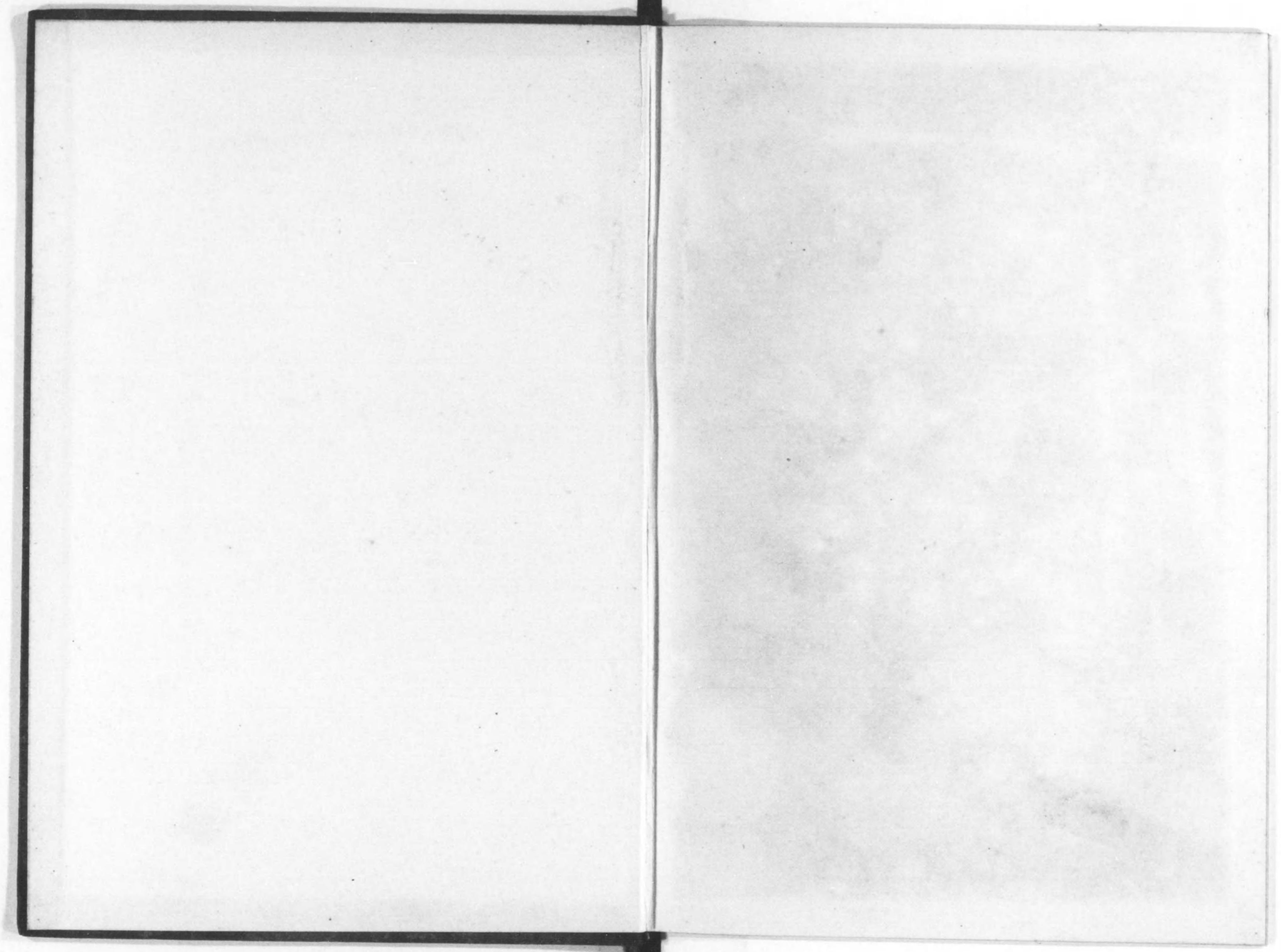
似玉堂

京都市中京區柳馬場三條南

發行所

京都市下京區猪熊七條上ル
振替口座大阪一八八三五番

龍谷大學出版部



終

3